

教科書の特徴

教科書名：BIG DIPPER English Communication II (104 数研 C II 716)

I 内容

日常的な話題・社会的な話題を英語の言語活動を通じて学習することで、英語コミュニケーション I で培った、的確に情報や考えを理解したり表現したりするコミュニケーション能力を、さらに伸ばすことができる内容・構成となっている。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ多面的・多角的な考察ができる内容豊かなものである。
2. 言語材料に関しては、英語コミュニケーション I からのスムーズな連携と、言語材料の確かな定着が可能なように、前半レッスンでは、英語コミュニケーション I の学習内容が再度扱われている。
3. 題材を学習するにあたっては、聞く・読む・話す[やり取り/発表]・書く の 5 つの領域の統合的な言語活動が設けられている。
4. 読んだり聞いたりした内容をもとに、自身の意見をまとめたりクラスメートの意見を聞いたりする活動を通して、学習者が自身の考えを深めつつ、積極的に授業に参加することができるようになっている。

II 全体の構成

1. 前見返し

- ・つなぎ表現：文章展開を示すつなぎ表現が、わかりやすく分類され一覧になっている。
- ・単語の成り立ち：単語の意味を推測できる「接頭辞・接尾辞」について説明されている。

2. 本課

- ・見開き構成で本文と活動がまとめられており、運用計画が立てやすいように配慮されている。

A. 導入ページ

- ・Your Goal：聞く・読む・話す・書く の観点での、その課の学習目標が示されている。
- ・Warm Up 1：音声を聞いて、内容に合致する写真などを選ぶ問題。
- ・Warm Up 2：ペアになって会話をする活動。活動の負担を考慮し、ヒントが示されている。

B. 本文ページ

- ・本文：写真・イラスト・図表などで、適宜、本文内容を補足するよう工夫されている。
- ・二次元コード：本文・新出語の聞き取り、音読・発音練習や、本文読解速度の確認ができる。
- ・脚注：本文理解の助けになる、代名詞や言い換えについて確認できる。また、固有名詞の読み方などが示されている。
- ・Hints for Understanding：ターゲットとなる文法事項の簡単な説明。図解が多用され、文法事項のイメージを得やすくなるように配慮されている。

- ・ **Comprehension** : 本文理解を確実にするための内容把握問題。基本的構成としては、設問(A)の T/F 問題で本文の概略を押さえ、本文内容・形式に合った多様な形式の設問(B)で理解確認ができる。
- ・ **Give Your Opinion** : 本文内容に関連した話題で自己表現ができる活動。活動の負担を配慮し、対話の型などが示され、ヒントも提示されている。

C. 課末ページ

- ・ **Main Information** : 各パートの内容を再確認する活動。簡潔かつ視覚的な体裁で、学んだ内容をまとめることができるように工夫されている。
- ・ **Try It Out** : 聞き取った内容を元にペアワークを行い、意見をまとめて発表する活動。段階を追って無理なく学習できるように工夫されている。

3. Grammar for Expression 1～5

- ・ 本課 2 レッスンごとに設けられた文法事項のまとめ。演習問題は、表やイラストの内容を英語にしたり自分の意見を書いたりするもので、主体的な学習ができるように工夫されている。

5. Power Up Section

- ・ 本課 10 レッソンの読み足し英文。本課トピックをさらに読み深める内容。**Comprehension** と **Give Your Opinion** によって、内容理解の確認と意見発表もできる構成になっている。

6. 巻末

- ・ **Can-Do List** : 各課の **Your Goal** と文法の一覧。授業計画を立てる際に参照しやすい。
- ・ **Grammar for Expression PLUS** : 発展的な文法演習問題。**Grammar for Expression 1～5** で学習した文法事項を使って、複数の文から成る英文を書いたり話したりする。
- ・ **Useful Idioms** : 本課脚注で扱った成句のまとめ。アルファベット順に並べ替えられており、参照しやすい。
- ・ **Word List** : **List 1** では新出語を、**Word List 2** では人名・国名・作品名等をリストアップしてある。

7. 後ろ見返し

- ・ 句読法 : 英語を正確に読んだり書いたりするために、コロン、ダッシュ等が説明されている。
- ・ **SDGs** (持続可能な開発目標) の解説 : 本課レッスントイトル横に掲載している目標アイコンについて、ここを併せて参照することで知識を深めることができる。

Ⅲ 表記・表現及び使用上の便宜

- ・ 4 技能 5 領域の活動には、それぞれの活動を示すアイコンが添えられており、内容がわかりやすい。
- ・ 新出語は脚注でなく傍注に示してあるため、本文を追う目の動きに沿って確認することができる。
- ・ 脚注は指示語の確認(1 段目)、イディオム(2 段目)、固有名詞等の語句注(3 段目)に分かれている。イディオムには辞書で引くべき見出し語に*印が付いており、学習しやすい。
- ・ 判型・その他 : B5 判で紙面をゆったりととり、写真やイラストを効果的に提示している。